

評価概要

「議員活動の自己評価」

令和3年度分（令和3年4月～令和4年3月）

平成17年から始めた議員の自己評価は、今回で17回目となります。右表の5主要指針に基づいて具体的に取り組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の161項目中、「○ほぼ満足」が61件で38%、「△努力が必要」が89件で55%、「▲さらに努力が必要」が11件で7%となりました。

次に、「成果の評価」については、項目全体の161項目中、「○ほぼ満足」が34件で21%、「△努力が必要」が78件で48%、「▲さらに努力が必要」が49件で30%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が37%ですが、成果の評価では21%と大きく差があります。

今後も各議員の取り組みが今まで以上に成果として反映されるように努力する必要があります。

議員個人としての活動については、1名の議員から報告がありました。

● 自己評価の指針

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力）
2. 監視評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）、討論などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、質疑・意見交換・討議（発言）などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、質疑・意見交換・討議（発言）、討論などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取り組み評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

● 議員別の評価集計

議員名	佐藤 孝男		平沼 昌平		木村 隆		川村 明雄	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	6	4	11	8	10	8	3	2
△ 努力が必要	9	9	5	5	4	6	18	11
▲ さらに努力が必要	0	2	0	3	0	0	0	8
計	15	15	16	16	14	14	21	21

● 議員個人としての活動

	溝部 幸基
報告会等の実施	1
議員だよりの発行	—
個人ホームページの開設	○
その他	—

議員名	杉村 志朗		藤山 大		小鹿 昭義		平野 隆雄		溝部 幸基		合計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	5	3	12	6	4	0	1	1	9	2	61	34
△ 努力が必要	8	4	6	12	7	9	14	10	18	12	89	78
▲ さらに努力が必要	0	6	0	0	2	4	3	7	6	19	11	49
計	13	13	18	18	13	13	18	18	33	33	161	161

* 分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」＝取組の評価 「成果」＝成果の評価

教えて！

ぎかいのコトバ 議員活動の目標（公約）とは？

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。

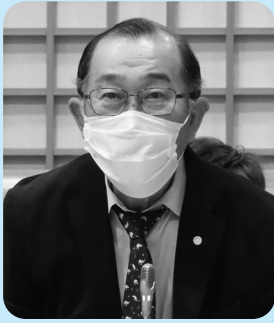
本年度は、9名の議員で総数項目161項目（昨年度：10名提出 166項目）となりました。

* 個人票はP31～P34に掲載しています。



「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」、
▲＝「さらに努力が必要」
評価期間：令和3年4月～令和4年3月



佐藤 孝男 75歳

議員歴27年
経済福祉常任委員長
議会運営委員
渡島西部広域事務組合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	若者定住対策と雇用対策	△	△
	大型公共施設の整備と改修の提言	△	△
財政	財政健全化の推進（基金有効活用）	○	○
	各種事業の検証	○	△
経済	陸上養殖アワビ販売と商品開発の推進	△	▲
	一次産業の振興と新規就業者の育成	△	△
	ほだ木確保のため町有林調査、作業路の整備	○	▲
福祉	社会福祉協議会の健全運営の調査と提言	△	○
	予防医療の推進	△	△
	吉岡温泉早期新築の提言	○	○
教育	給食センターでの地場作物の利用強化	△	△
	福島商業高等学校存続対策の推進	○	○
その他	第2青函トンネル構想に向けての推進	△	△
	松前半島高規格道路整備の推進	△	△
	各種行事の積極的な参加	○	△



平沼 昌平 66歳

議員歴17年
議会運営委員長
経済福祉常任委員
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	雇用の場の創出と定住、多拠点としての移住促進の提言	○	▲
	IT化による行政資料の簡略化と町内外での活用についての提言	○	○
	将来的雇用人口減による外国人研修生受け入れの体制整備の提言	○	○
財政	効率的な事務事業の提言と検証。それらに伴う、更なる提言	△	△
	歳入最終予算の算出根拠に対する検証と確認等に伴う提言	○	△
経済	新たな養殖事業の模索と高齢化を視野に入れた前浜漁業の模索提言	△	▲
	農林水産業の少量高価値製品の1次から6次化産業の模索と町内雇用の創出に対する提言	△	△
	商工・観光の両面による町内経済活性化の提言と地場産品の開発に対する提言	○	△
福祉	人口減少からくる自助・共助・公助の在り方と行政事業に対する再確認。また、将来的な高齢者福祉事業の進め方について提言	○	○
	ウイルス、地震、異常気象による洪水等の災害に対する危機管理から来る対応について提言	○	○
教育	小学校統廃合に対する環境整備と小学校教育環境の充実に提言	○	○
	小中高一貫校的環境整備と充実したいIT化。国際力のある環境の提言	△	▲
	子育て環境に対する共助環境の充実と公助の在り方等検証と提言	○	△
その他	定例会前の勉強会の充実と議会活動の広域化	○	○
	第2青函トンネル実現に向けた活動と町内外に向けた情報発信活動	△	○
	松前・福島間の新たな広域道路建設の提言	○	○



「第2青函トンネル構想を実現する会」のパンフレット

読めば読むほど 詳しくなれる！ するめコラム③

第2青函トンネルとは？

津軽海峡に新たに掘られる可能性のあるトンネルです。現在の青函トンネルは、在来線の貨

物列車と共用する区間があることから、最高速度がおさえられていますが、実現することで課題が解決し、新幹線の速度向上につながります。

青函トンネル工事基地であった福島町が「第2青函トンネル構想を実現する会」を設立し、構想実現に向けた情報発信等の取組が行われています。



木村 隆 42歳

議員歴15年
総務教育常任委員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	産学官の新たな展開、調査	△	△
	地域起こし協力隊の新たな可能性	△	△
財政	コロナ感染予防、景気対策等財政出動	○	○
	ふるさと納税向上の取り組み	○	△
経済	子育て住宅などの注視	○	○
	新種苗センター等育てる漁業政策	△	△
	コロナの影響による外国人実習生の情報収集	○	○
福祉	コロナワクチン対策	○	○
	保育士等子育て人材の確保	○	○
	吉岡温泉建替への注視	○	○
	高校魅力向上政策	○	○
教育	プログラミング講座の注視	○	○
	中学校教科書改訂の対策（英語、ALT）	△	△
その他	第2青函トンネル構想推進	○	△



川村 明雄 76歳

議員歴14年
総務教育常任委員長
議会運営委員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	松前半島道路計画推進	△	△
	第2青函トンネル構想の推進	○	△
	道の駅構想への考察提言	△	△
財政	各基金の有効活用	△	△
	町内経済活性化対策	△	▲
	コロナ禍にあり「入りを量りて出づるを為す」視点注視	△	▲
経済	各種産業の維持発展施行	△	△
	林産業の開発促進	△	▲
	地場製品の開発、ブランド化対策	△	▲
福祉	高度福祉対策への人材育成	△	△
	高齢者の定住維持対策	△	△
	超高齢化へのあるべき福祉対策の考察	△	△
教育	福島商業高等学校の存続維持対策	○	○
	教員の働き方改革	△	▲
	小中高一貫教育の魅力ある学習の考察	△	▲
その他	町民要望に対する考察、実現	○	○
	若者・外国人世帯の受け入れ対策	△	▲
	若年層の文化活動の推進	△	△
	本公約の他これまで掲げた公約の点検、実現考察	△	△
	観光視点でのまちづくりへの町民理解と意識醸成	△	△
	中古住宅利活用対策の考察	△	▲

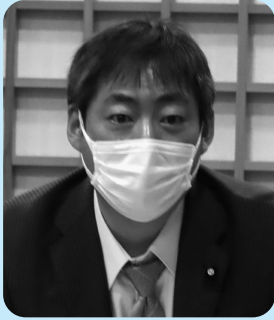


杉村 志朗 73歳

議員歴23年
総務教育常任委員
渡島西部広域事務組協議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	新型コロナウイルス感染症対策徹底の実現	○	○
	異常な積雪による高齢者への配慮の対応	○	△
財政	町立診療所運営の健全化体制の確立	△	▲
	町民が安心できる財政の健全化の取組	○	○
経済	種苗生産施設整備基本構想の推進	△	▲
	滞在型の体験観光旅行（岩部クルーズと連携）	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
福祉	高齢化と人口減少問題の支援	△	▲
	思いやりのある高齢者への福祉対策	△	△
教育	福島商業高等学校入学者に対する継続的、安心な運営	○	△
	小中学生のスポーツ活動の支援	△	△
その他	空家住宅の計画的減少対策	△	▲
	他町に誇れる花・花壇の美化対応	△	▲
	運転免許証返納者への対応	△	▲



藤山 大 47歳

議員歴 9年
経済福祉常任副委員長

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進	○	△
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	△	△
財政	優先順位を持った財政運営の推進	△	△
経済	一次産業のさらなる発展への提言	○	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
経済	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	○	△
	農業者へのやさしい対応と後継者育成	○	△
	新型コロナ感染症対策（人的・経済支援）	○	○
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	△	△
	福島商業高等学校存続対策	○	○
教育	今後の小学校のあり方（福島小学校と吉岡小学校の）	○	△
	文化・伝統を後世に残るための取り組み（四々散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）	○	○
その他	今後の「道の駅」のあり方	△	△
	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果が期待できるイベント集客力を目指すための提言	○	○
	松前半島高規格道路整備の推進	△	△
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）	○	△
	インターネットを使つての報告（YouTube、Twitter、Zoom）	○	○

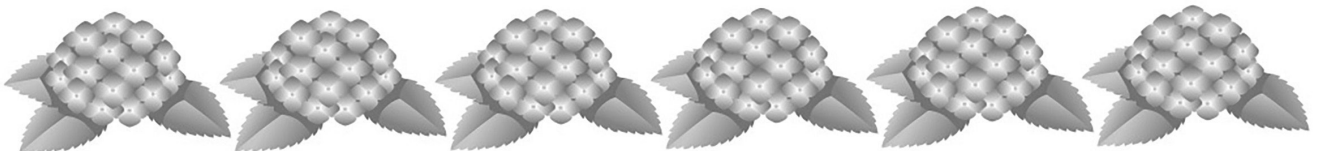


小鹿 昭義 69歳

議員歴 2年
経済福祉常任委員
議会運営委員

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言	△	△
	第2青函トンネルの構想実現	△	△
	新しい風を吹き込み、安全安心で町民と共に、未来に向かうまちづくりへの提言	△	▲
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進	○	△
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言	○	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進	△	△
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光事業の推進	▲	▲
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言	○	△
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進	△	△
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	▲	▲
教育	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言	△	▲
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	△
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む	○	△



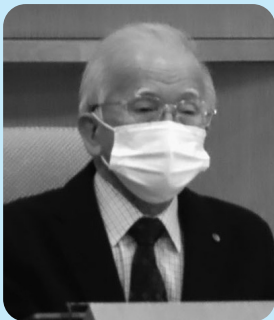


平野 隆雄 73歳

議員歴26年
副議長
広報・広聴常任委員長
総務教育・経済福祉常任委員
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想実現の活動推進	△	▲
	町内景気の活性化推進で交流人口増	△	△
	福島川改修事業の早期実現	○	△
財政	財政調整基金の活用	△	△
	町立診療所運営の健全経営実現	△	△
	各町内会館の再編推進	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	養殖コンブ製品増の推進	△	△
	蝦夷アワビ（養殖）の新たな商品開発推進	△	▲
	スルメ加工以外の商品開発推進	▲	▲
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言	△	▲
	吉岡温泉ゆとらぎ館新築の早期実現へ	△	○
教育	がん検診の検診率向上推進	△	△
	少子化の中の教育行政推進	△	△
	学芸員配置で縄文土器等による町づくりで交流人口増	△	▲
その他	福島商業高等学校入学増の推進	△	△
	学校等における相撲人口増で横綱の里推進	▲	▲
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進	△	△
	伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR推進	▲	▲



溝部 幸基 74歳

議員歴41年
議長
総務教育・経済福祉常任委員
渡島西部広域事務組合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証）	○	△
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査研修	△	▲
	「公契約条例」に関する調査研修	▲	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）	△	▲
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）	△	△
	「平和の町宣言」に関する調査研修	▲	▲
	浄化槽（下水道整備）の普及推進	▲	▲
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進	○	△
財政	財政健全化への取り組み（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）	○	△
	退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
	監査制度の検証（議選監査委員・議会監査の在り方）	○	○
経済	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設	△	▲
	異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討）	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	地場産品の6次産業化に関する調査研修	△	▲
	産業団体と課題に取組む産業公社的仕組みづくりの調査研修	△	▲
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査研修	△	▲
	「健康な町づくり」（全町的な取り組み）で医療費の節減	△	▲
	公立診療所の在り方に関する調査研修	○	▲
	在宅介護支援体制の整備	△	▲
教育	簡易水道料金の見直し（用途別基本水量・水道料金）	△	△
	小中学校一貫教育、コミュニティスクールに関する調査研修	▲	▲
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査	△	△
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集）	△	▲
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲
その他	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）	△	△
	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現（議会基本条例の周知）	○	△
	活発な討議（討論）ができる議会の実現	○	△
	政策的な提案のできる議会の実現	○	△
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	○	○
	視察の積極的な受け入れ	▲	▲
	ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）	△	△
各種行事、研修への積極的な参加	△	△	